

アウトドアデッキ施工案内

デッキ材 Outdoor Deck



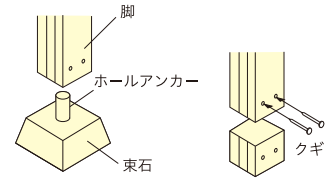
アウトドアデッキ施工方法 ■商品ページ→P125

■基礎設置

※基礎部材は現地で調達してください。

1. 砕石を10cm程度突き固めてください。
2. 捨てコンクリートを5cm程度打ってください。
3. コンクリート製東石(15cm角程度)を備え付けてください。

4. コーナー部分にホールアンカー(現地調達品φ10×L60mm)を打ち込んでください。
5. 脚の長さを現場の高さに合わせてカットしてください。



1. 根太と脚を組み立てます。

a. 通常の場合

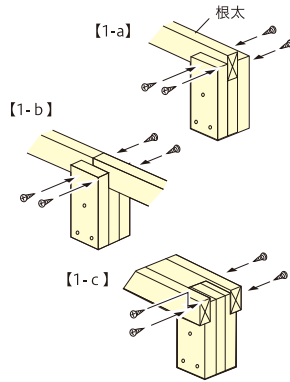
根太両端に脚を片側(脚部から)2本ずつの木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。

b. 根太を連結する場合

根太連結部分に脚を片側2本ずつの木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。

c. 連結脚の場合

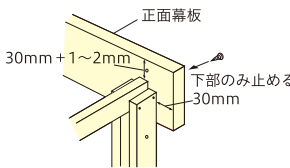
根太両端に脚を片側(根太側から)2本ずつの木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。



2. 正面(根太木口側)の幕板と根太を取り付けます。(幕板は根太より30mm長い)

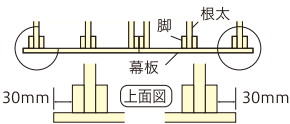
a. 1枚使用の場合

幕板の高さ方向はパネルの厚さ30mmより1~2mm余分に取ります。側方向は30mm分取り、それぞれ図のように野書きします。幕板を根太木口面に2本ずつの木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。



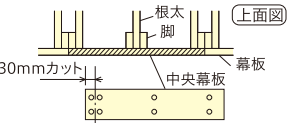
b. 2枚使用の場合

1枚使用の場合と同様に幕板を根太木口面に2本ずつの木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。



c. 3枚以上使用の場合

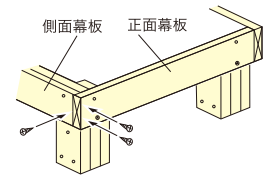
外側部分は2枚使用の場合と同様です。中央の幕板は幕板取付方向30mm部分をカットしてください。



3. 次に側面(根太長手方向)の幕板と脚を取り付けます。

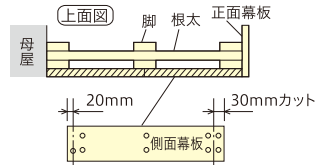
a. 1枚使用の場合

予め取り付けている幕板に合わせて側面の幕板を2本ずつの木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。同時に脚へも木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。その時、下部のみで上部には止めません。正面の反対側は幕板木口面が見えます。

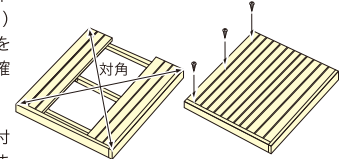


b. 3枚以上使用の場合

取付方法は1枚使用の場合と同様です。余分な部分は幕板取付方向をカットしてください。

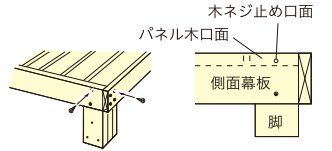


4. パネルを根太の両端に置き、木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で仮止めします。全体の対角を測り、対角が出ていることを確認してください。

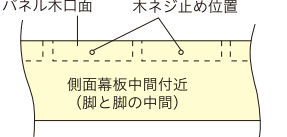


5. パネルを根太に置き、木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。

6. 側面幕板の脚部へ止めた上部に、パネル木口面を木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。また、正面幕板とパネル側面も同時に木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。

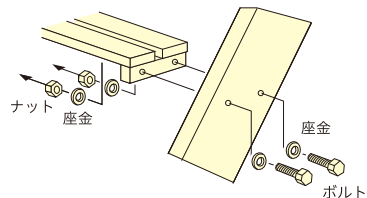


7. 幕板前面の脚と脚の間部分パネルの木口面に木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で止めます。

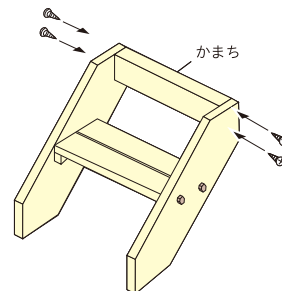


■ステップの施工方法

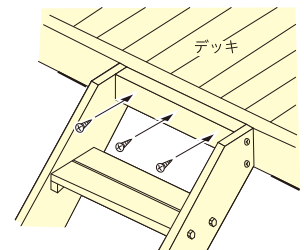
1. 現場の高さに合わせてステップ側板をカットしてください。
2. 側板と踏み板をボルト(付属品M8×90mm)とナットで組み立てます。



3. 側板とかまちを木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で組み立てます。



4. 組み立てたステップをデッキ幕板に木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で取り付けます。



アウトドアデッキ施工案内

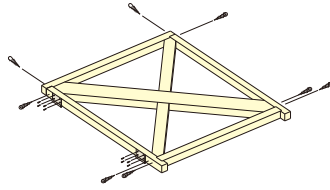
デッキ材

Outdoor Deck



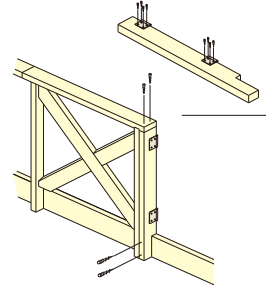
■ドアの施工方法

- 上枠・下枠・縦枠・筋交いを付属のコーススレットφ4.2×75で組み立てます。使用部材は木材を使用していますので、締めすぎに注意してください。
- 丁番を取り付けます。落しは、ドア縦枠の下部または、上枠に取り付けることをお勧めします。



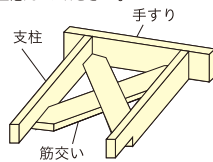
1. ドアを取付ける受け材に丁番を取付けます。

2. フェンスに受け材を取付けます。下部はコーススレットφ4.8×90 横面はコーススレットφ4.1×57を使用します。

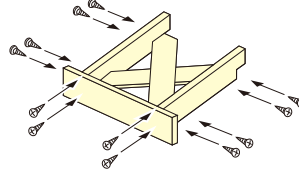


■クロス・フェンスの組立方法

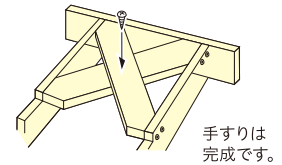
1. 筋交いに合わせ手すりと支柱を木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で取り付けます。※平らな部分に置いて組み立てますと容易にできます。必ず各部品との間に、隙間がないように注意してください。



2. 組み立てた手すりに筋交いを木ネジ(付属品φ4.2×L75mm)で取り付けます。



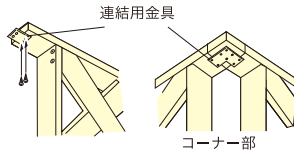
3. 裏返しにして筋交い部分に木ネジ(付属品φ3.8×L32mm)を1本取り付けてください。※出隅・入隅のコーナー手すりも同様に組み立ててください。コーナー手すりは左右がありますので注意してください。



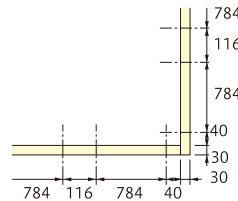
手すりは完成です。

■フェンスの施工方法

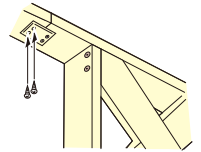
1. 手すり裏面に連結用金具を木ネジ(付属品φ3.8×L32mm)で取り付けます。コーナー手すりは連結用金具で組み立ててください。コーナー部分より手すりを組んでいきます。



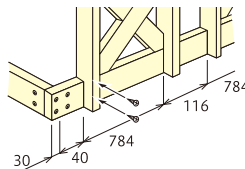
2. 幕板を取付け位置に罫書いてください。



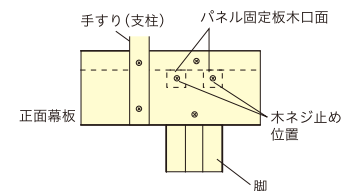
4. 手すり上部と横ずれがないことを確認して、手すり同士を連結用金具に木ネジ(付属品φ3.8×L32mm)で固定してください。



3. 支柱を幕板に罫書線に合わせて、木ネジ(付属品φ4.2×L90mm)で取り付けます。



5. 正面幕板とパネル固定板の木口面を木ネジ(現地調達φ4.2×L75mm)で固定しますと手すりがより強固になります。



使用上の注意と日頃のメンテナンス

1. 木材含浸塗料は半年から1年に1回程度再塗装をしてください。木材含浸塗料が施してあっても、経時的に劣化していきます。
2. 部材のささくれなどによりけがをする恐れがあります。施工・移設の場合には手袋等の保護具を使用してください。
3. フェンスの近くに足場になるような台を置かないでください。幼児や小さなお子様が手すりに上がったり、乗り越えて転倒する恐れがあります。
4. 日頃のメンテナンスは、ホコリやごみを取り除き固く絞った雑巾等で水拭きしてください。汚れのひどい場合は薄めた中性洗剤を使用し、雑巾等で拭いてください。
5. 塗料は木材を美しく保つため毎年一回再塗装してください。
6. 塗料替える前には、表面の泥やホコリ等を除去してください。(2回塗りますと色ムラが目立ちません)塗料は、大谷塗料(株)「VATON FX」パイン=#507 ブラウン=#517 メープル=#507、#517、#521と同等品をご使用ください。
7. 商品は木質系で、多少の寸法誤差や、形状変化、色調が異なる場合がありますことをご了承ください。